

健診センター長

日本人間ドック学会 指導医・専門医、人間ドック健診情報管理指導士
志田 勝義

1 2020年度の総括

2020年度の総稼働件数は5,686件で前年比84件の減少がみられます。

内訳は、半日ドック3,183件、脳ドック92件、一般健診1,936件、生活習慣病健診475件です。

半日ドック、脳ドックはともに前年を下回りました。これは非常事態宣言の発令に伴う、業務停止の影響と思われます。一方、一般健診、生活習慣病健診に関しては増加がみられており、これは業務再開後に予約可能枠を若干ですが、増加させた影響と思われます。

2 人員

脳神経外科/院長	星 誠一郎
内科(一般、消化器)/健診センター長	志田 勝義
脳神経外科	西山 裕孝

3 健診実績

精密検査指示数は、上部消化管内視鏡検査60/2,452人(2.4%)、上部消化管X線造影検査133/747人(17.8%)、心電図216/4,890人(4.4%)、胸部X線検査145/4,884人(2.9%)、胸部CT検査5/89人(5.6%)、腹部超音波検査83/3,183人(2.6%)、マンモグラフィー13/397人(3.2%)、乳腺超音波検査7/726人(0.9%)、子宮頸部細胞診11/660人(1.6%)です。

追跡した精密検査の結果での癌診断数は、胃癌4人、肺癌2人、食道癌、大腸癌、膵臓癌、縦郭腫瘍、十二指腸濾胞性リンパ腫、腎細胞癌、子宮癌1人です。

4 2021年度の方針

2020年度は始まると同時にコロナ禍に見舞われ、4月に非常事態宣言が発令されました。発令中の約1か月間は日本人間ドック学会の指導の下に健診および人間ドック業務を停止せざるを得ない状況にみまわれ、解除後も感染防止策の徹底および健診予約日程の変更などの事務作業に追われることとなり、前例のない状況への対応に大変苦慮いたしました。そのような状況下におきましても、前述させていただきましたような実績を残せたことは、当院各部署の対応能力の高さおよび各職員の熱意の賜物であったと自負しております。2021年度におきましても引き続き、徹底した感染予防策を行いながら、安心して受診していただけるような環境づくりをしていく所存です。

諸検査数動向をみますと、半日ドックの件数の減少のため上部消化管内視鏡検査は減少しておりますが、上部消化管X線造影検査は昨年に比して増加しており、これは生活習慣病健診数の増加に伴うものと思われます。以前より、全国健康保険協会からの生活習慣病健診のニーズが高まっているため、これに応えるべく当院におきましても生活習慣病健診の受け入れ数を増やして対応しており、若干ではありましたが昨年度も増やしたためと思われます。

前述の理由にて検査数の増加した上部消化管 X 線造影検査ですが、当院の精密検査指示率は 17.8% であり、これは日本人間ドック学会が推奨している 15% 未満を超える結果となっています。この理由は、学会の判定基準では慢性胃炎は C 判定となりますが、当院では粘膜萎縮の存在が明らかに疑われる慢性胃炎(萎縮性胃炎)に関しては、内視鏡による画像診断の必要性およびピロリ菌感染リスクを鑑みて精密検査指示とさせていただいているためと思われます。この当院の指示率が学会の推奨基準を超えているということに関しては、健診施設機能評価受診の際の医師サーベイヤーの先生との面談にて理由と意図を十分に説明させていただいて、ご了承をいただいております。

引き続き当院といたしましては、将来的に胃癌発症リスクが高いと思われる症例を積極的に内視鏡検査に誘導していくことにより、胃癌撲滅へ寄与していきたいと思っております。

今年度は追跡できた精密検査の結果での癌診断数では胃癌が最多の 4 人を数えました。全症例が早期胃癌の状況での発見であり、内視鏡的粘膜切開剥離術(ESD)にて開腹手術をうけることなく治療を終了しております。この内の 3 例(1 例は他臓器癌でのかかりつけ病院にて治療)と食道癌に関しましては、当院消化器科にて治療が完結できております。膵臓癌に関しましては早期発見例であり、当院外科での速やかな対応にて、無事に手術治療を受けていただくことができました。このことは当院健診センターと当院診療部との連携が速やかに行われているということを示唆しているものと思われます。早期発見は健診センターの使命であることは周知のことではありますが、そこにとどまることなく早期治療までつなげてこそ二次予防機関の役割であると思われまます。このことは当院健診センターの基本方針として挙げさせていただいており、今後も継続して取り組んでいきたいと思っております。

この度、当院健診センターは 2021 年 3 月 19 日をもって人間ドック健診施設機能評価委員会が定める認定施設に認定していただきました。この制度は日本人間ドック学会が平成 16 年(2004 年)から人間ドック健診施設機能評価委員会を設置して開始された事業で、受診者利益の確保や施設・組織の質の向上をふまえた上で、認定施設が地域における予防医療のリーダー的存在として活躍することを期待し、その育成に努めることを目標にしております。

当院健診センターは以前より施設認定を目標として整備を進めており、2017 年には予備審査を受審しておりました。その時点でも受審は可能との判断をいただいておりますが、責任者の交代や評価項目のバージョンアップなどへの対応に時間を要したため、現状となった次第です。

現時点(2021 年 4 月)での認定施設数は全国で 391 施設、千葉県で 16 施設となっております。施設認定はやっとスタートラインに立つことができただけであり、今後も現状維持および更なる向上のためには継続的な努力が必要なのだと思うと身の引き締まる思いがいたします。

当院健診センターは、今後も受診者の皆様に健康で、且つ実りある人生を提供するために、職員一同努力していく所存です。